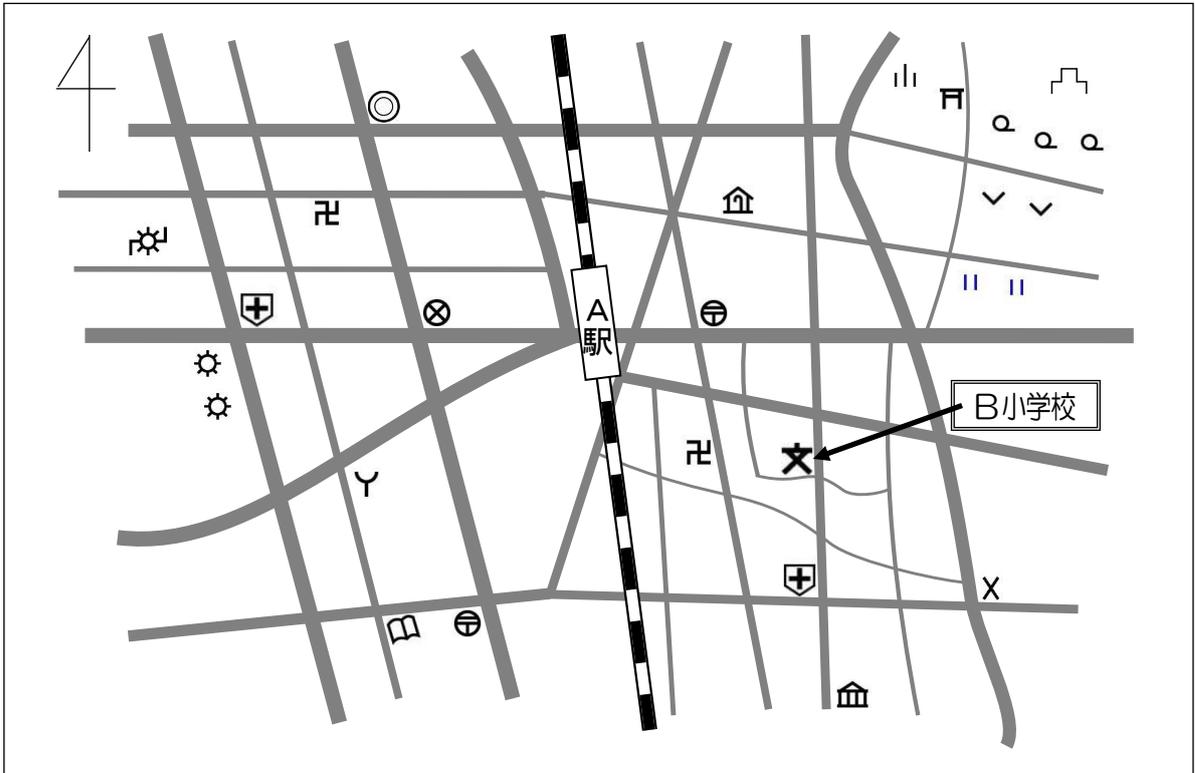


次の地図を見て、(1)と(2)の問いに答えましょう。



(1) A駅から見たとき、市役所はどの方角に見えますか。
八方位で答えましょう。

うら面に答えがあります。
答え合わせをしてから(2)
の問いに進みましょう。



(2) 「B小学校」から「図書館」への行き方を方位を使って説明
する文を書きましょう。「B小学校の東がわの道路を」に続
けて書きましょう。

B小学校の東がわの道路を

うら面の答えのれいを見て、たしかめましょう。



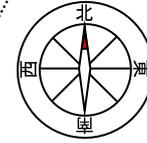
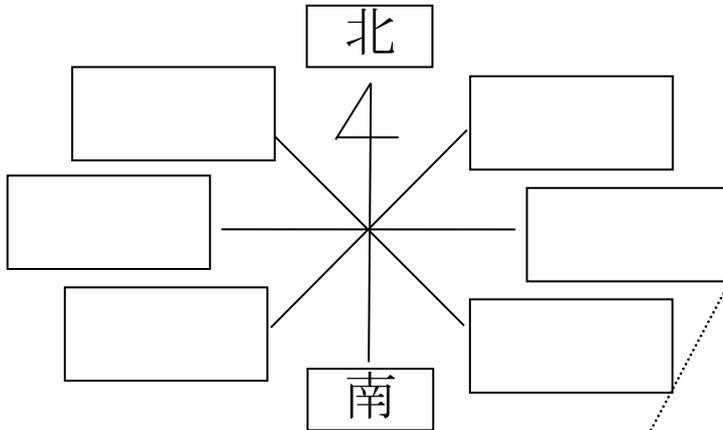
(1) の答え

北西

方角が、わからなかった人は、「ステップ1」
地図記号が、わからなかった人は、「ステップ2」に進み
ましょう。
できた人は、表の(2)の問いに進みましょう。

【ステップ1】方位をたしかめよう

次の に、八方位を書きましょう。



方位じしんは色がついている方が北をさします。
地図はふつう、北を上にして表します。



八方位がわからなかった人は、教科書
(3・4年上、新版・旧版)の23ページで、たしかめましょう。
地図記号をたしかめたい人は「ステップ2」へ、自しんのある人は表の(2)の問いに進みましょう。

【ステップ2】地図記号をたしかめよう

次のア～エの地図記号は、何をあらわしているか書きましょう。
また、オ～キのしせつ(たてもの)に合う地図記号を書きましょう。

	地図記号	あらわしているもの		地図記号	あらわしているもの
れい		市役所	オ		学校 (小中学校)
ア			カ		寺
イ			キ		消防しょ
ウ			<p>地図記号がわからなかった人は、教科書(3・4年上、新版・旧版)の16ページからの地図を見て、たしかめましょう。 いろいろな地図記号についても調べてみましょう。 できた人は表の(2)の問いに進みましょう。</p>		
エ					

..... <山おり: 表の(2)の答えが見えないようにおる>

(2) の答え
のれい

できなかった人は、「ステップ1」
「ステップ2」をた
しかめましょう。

B小学校の東がわの道路を南の方角に進んで行くと、病院があります。病院がある交さ点を西の方角に進んで行き、ゆうびん局を通りすぎると図書館があります。

(下線部のように方位を使って、説明しましょう。)

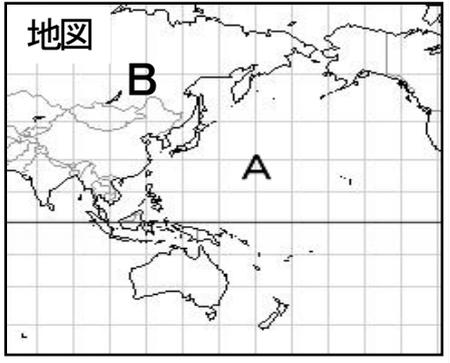


次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 日本の国土について、下の資料と地図にまとめました。
 (A) ~ (D) にあてはまることばや数字を書きましょう。

資料 <日本の国土の様子>

日本はまわりを海に囲まれ、(A) という海洋の西側にあります。また、(B) 大陸の東側にあります。
 日本は、北海道、(C)、四国、九州の四つの大きな島と、そのほかの多くの島々が南北に連なっています。
 日本の国土の4分の(D) は山地で、平地は少ないです。



A

B

C

D

うら面に答え
があります。
答え合わせを
してから(2)の
問いに進みま
しょう。

(2) 日本各地の気候の特色について、次のようにまとめました。
 下線部ア~ウの都道府県の位置を例のように矢印で示しましょう。

(例) 北海道は、冬が長く、寒さがきびしいです。

・日本海側の^{にいがた}新潟県は、冬にたくさんの雪がふります。
ア

・太平洋側の^{しずおか}静岡県は、気温が高いあたたかい地域です。
イ
夏や秋によく雨がふります。

・瀬戸内海に面した^{かがわ}香川県の高松市
ウ
は、太平洋側の気候とにしています
が、^{こうすいりょう}降水量はやや少ないです。



(2)の答え(各都道府県の位置)を
地図帳<「帝国書院1ページ」
「東京書籍7、8ページ」>で確かめま
しょう。
 確かめた人は、うらの【ステップ3】
に進みましょう。

(1)の
答え

A 太平洋

B ユーラシア

C 本州

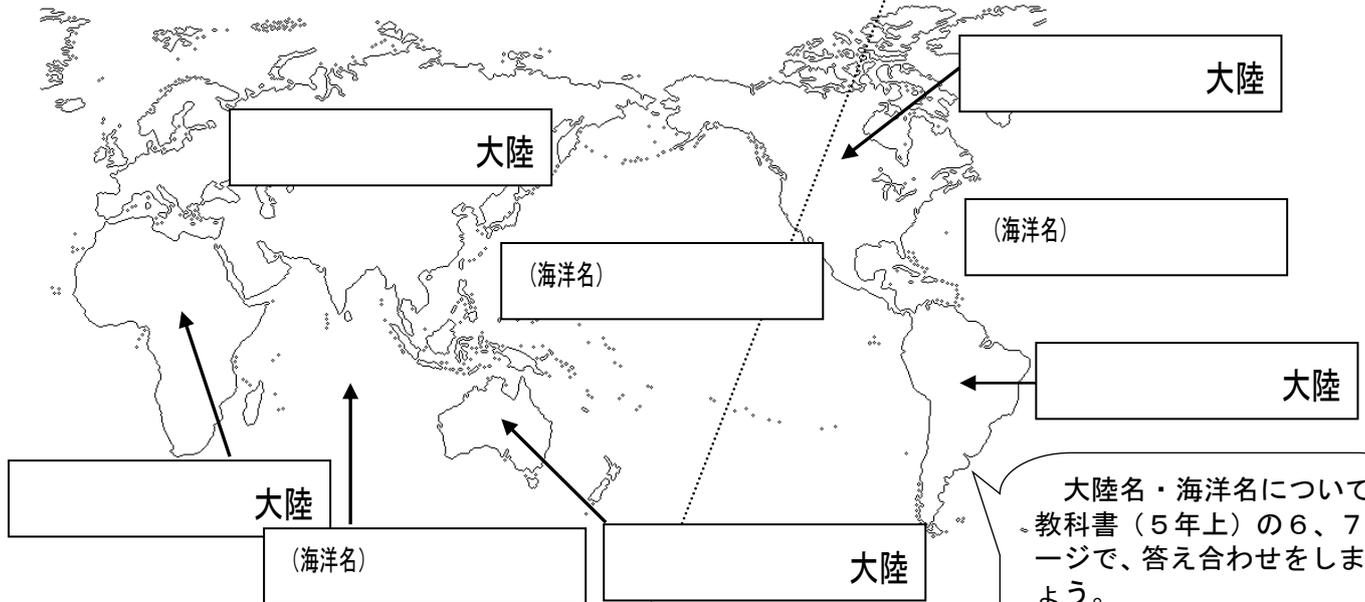
D 3

(1)のA、Bがわからなかった人は、「ステップ1」に、C、Dが、わからなかった人は、「ステップ2」に進みましょう。
できた人は、表の(2)の問いに進みましょう。



【ステップ1】「世界の主な大陸と海洋」を確かめよう

次の に、当てはまる大陸名と海洋名を書きましょう。



大陸名・海洋名について、教科書(5年上)の6、7ページで、答え合わせをしましょう。
できた人は「ステップ2」へ進みましょう。

【ステップ2】「国土の地形の特色」を確かめよう

<わが国の国土>

- ・わが国は、「北海道」「本州」「四国」「九州」の四つの大きな島と、そのほかの多くの島々からなっています。
- ・日本の海岸線の長さは、約3万kmです。
<教科書(5年上)12、13ページ>

<国土のいろいろな地形>

- ・日本の国土には、北海道から九州にかけて、中央にせぼねのような山脈が連なっています。
- ・国土の4分の3は山地で、平野が少ないです。
<教科書(5年上)14~17ページ>

「ステップ1、2」を確かめた人は、表の(2)に進みましょう。

【ステップ3】「岐阜県のまわりの都道府県」を確かめよう

次の に、当てはまる都道府県名を漢字で書こう



ア 岐阜県の東にあり、岐阜県に接している の高地では、夏のすずしい気候を生かした野菜づくりがさかんです。



イ 岐阜県の南西に位置する海津市は、木曾川、長良川、揖斐川の下流にある低地で、愛知県と に接している。

アの答えは、<教科書(5年上)29ページ>
イの答えは、<教科書(5年上)19ページ>

次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 日本の主な農産物の生産量の多い都道府県を、次のようにまとめました。
[A] ~ [D] にあてはまる都道府県名を書きましょう。

米  ①[A] (66.4万t) ②北海道 (62.9万t) ③秋田県 (52.9万t)

レタス  ①[B] (19.5万t) ②茨城県 (8.6万t) ③群馬県 (5.5万t)

みかん  ①[C] (16.3万t) ②愛媛県 (13.0万t) ③静岡県 (12.2万t)

肉牛  ①北海道 (51.6万頭) ②[D] (34.3万頭) ③宮崎県 (25.0万頭)

(「米」「肉牛」は2013年、「レタス」「みかん」は2012年の生産量〔農林水産省統計表〕)

A

B

C

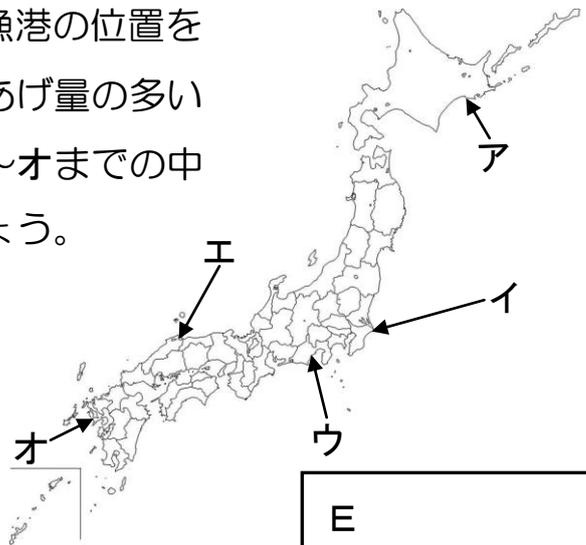
D

うら面に答え
があります。
答え合わせを
してから(2)
の問いに進みま
しょう。

(2) 日本の主な漁港と漁業の分類について、①と②の問いに答えましょう。

①右の地図中のア～オは、日本の主な漁港の位置を示しています。かつおやまぐろの水あげ量の多い「焼津漁港」の位置を、地図中のア～オまでの中から1つ選び、その記号を書きましょう。

焼津漁港 :



②漁業の分類についてまとめた下の資料1の(E)と(F)にあてはまることばを書きましょう。

資料1 「漁業の分類」

(E) 漁業 : 遠くの海に出かけて、長い期間にわたって行われる漁業。
(F) 漁業 : 10 t 以上の船を使って、数日ばかりで行われる漁業。
沿岸 漁業 : 10 t 未満の船を使う漁や、定置あみ、地引きあみ漁業。

E

F

うら面に答え
があります。

(1) の答え

A 新潟県

B 長野県

C 和歌山県

D 鹿児島県

(1) のAがわからなかった人は「ステップ1」に、B、Cがわからなかった人は「ステップ2」に、Dがわからなかった人は「ステップ3」に進みましょう。できた人は、表の(2)の問いに進みましょう。

【ステップ1】「米の生産のさかんな地域」を確かめよう。



米の収穫量の多い上位5つの都道府県は、「新潟県」「北海道」「秋田県」「山形県」「茨城県」です。その位置を、(例) 岐阜県のように、左の地図に矢印で示しましょう。

地図帳<「帝国書院 67 ページ」「東京書籍 7、8 ページ」>で答え合わせをしましょう。また、<教科書(5年上) 67 ページ>で、「米づくりのさかんな地域は、日本列島のどこに広がっているか」を確かめましょう。できたら表の(2) またはステップ2に進みましょう。

【ステップ2】「野菜や果物の生産のさかんな地域」を確かめよう。

次の(ア)と(イ)の(G)～(I)にあてはまることばや都道府県名を書きましょう。

(ア) [野菜の生産のさかんな地域]

- 長野県や群馬県の高原では、夏でも(G)気候を生かした野菜づくりがさかんです。
- 宮崎県や高知県などでは、冬でもあたたかい気候を生かした野菜づくりがさかんです。

(イ) [果物の生産のさかんな地域]

- ※生産量の多い上位3都道府県 (2012年の生産量 [農林水産省統計表])
- 《みかん》 1位: 和歌山県(16.3万t) 2位: 愛媛県 3位: 静岡県
- 《(H)》 1位: 青森県(44.6万t) 2位: 長野県 3位: 岩手県
- 《もも》 1位: (I) (4.5万t) 2位: 福島県 3位: 長野県

G

H

I

<教科書(5年上) 71～73 ページ>で、G～Iの答え合わせをしましょう。できたら表の(2) またはステップ3に進みましょう。

【ステップ3】「畜産の生産のさかんな地域」を確かめよう。

乳牛や肉牛を飼育する畜産には、えさになる牧草をつくる広い土地が必要で、主な産地は北海道や九州です。鹿児島県の肉牛の総飼育頭数は、およそ34万頭で、全国の約13%をしめています(2013年)。

<教科書(5年上) 70 ページ>で、畜産の生産のさかんな地域を確かめましょう。

<山おり: 表の(2)の答えが見えないようにおる>

(2) の答え

① 焼津漁港 : ウ

② E : 遠洋 (漁業)

F : 沖合 (漁業)

【ステップ4】「水産業のさかんな地域」を確かめよう。

主な漁港の位置は、<教科書(5年上) 92 ページ>と地図帳で確かめましょう。漁業の種類については、<教科書(5年上) 94 ページ>で確かめましょう。

右の「水あげ量の多い主な漁港」がある都道府県名を(例)のよう< >に書きましょう。

(例) 焼津漁港 <静岡県>

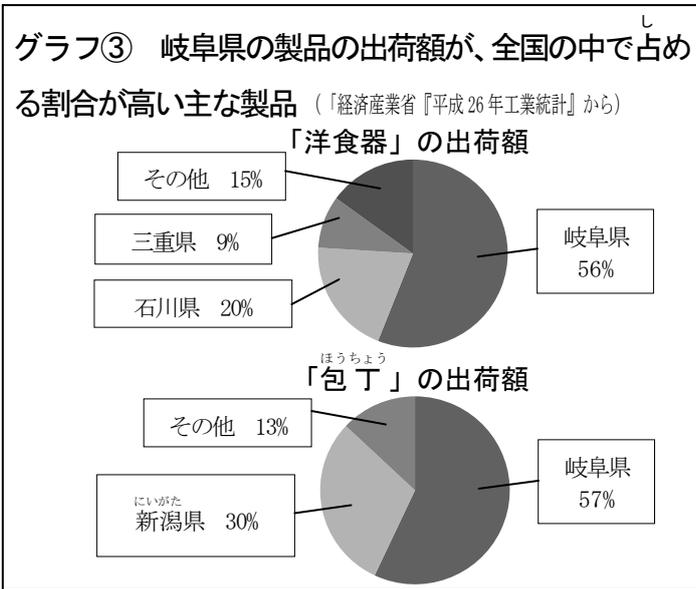
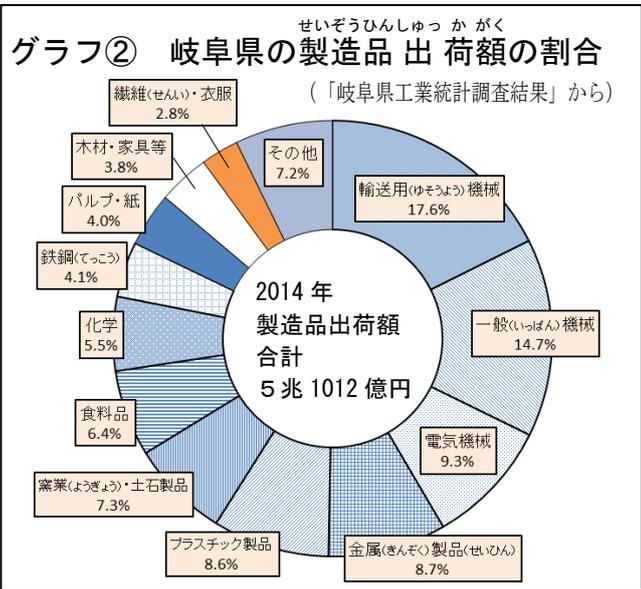
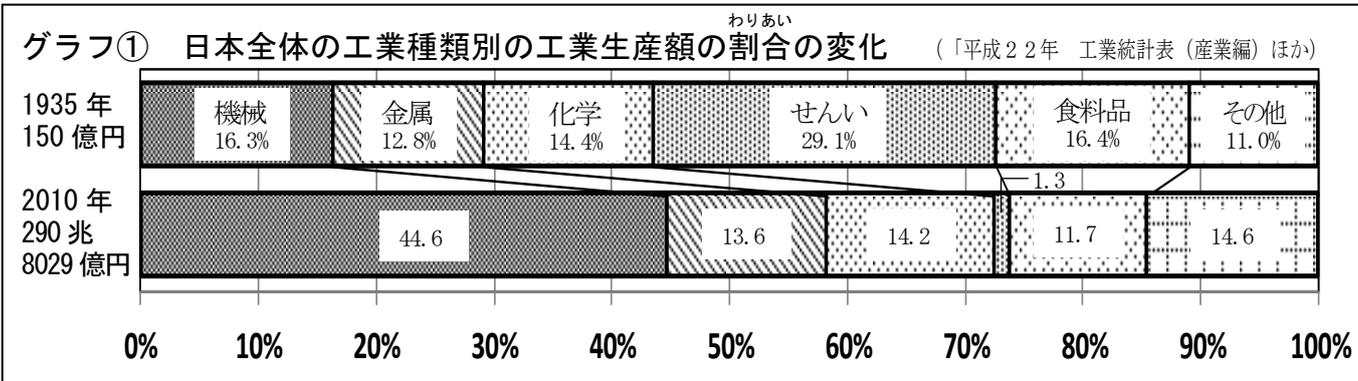
くしろ 釧路漁港 < >

はちのへ 八戸漁港 < >

ちょうし 銚子漁港 < >

さかい 境 漁港 < >

次のグラフ①～③を読み取り、下の【問題】に答えましょう。



【問題】 下の(1)～(5)の文を読み、上のグラフ①～③から読み取ることができることとして正しいものには「○」印を、上のグラフから読み取ることができないことや、読み取りがあやまっているものには「×」印をつけましょう。

	↓○、×
(1) 2014年の岐阜県の製造品出荷額は、2014年の愛知県の製造品出荷額より少ない。	
(2) 1935年と2010年を比べると、日本全体の「食料品」の生産額は1935年の方が多い。	
(3) 2014年の岐阜県の製造品出荷額の中で、「輸送用機械」が17.6%をしめ、一番割合が高くなっている。	
(4) 日本全体の工業生産額を、1935年と2010年を比べると、「機械」の割合は増加しているが、「せんい」の割合は減少している。	
(5) 「洋食器」や「包丁」の出荷額をみると、岐阜県の出荷額が全国の50%以上を占めている。	

○、×をつけたら、うら面をみて、答え合わせをしましょう。

表の【問題】の答え

- (1) × (2) × (3) ○
 (4) ○ (5) ○

答え合わせをしたら、下の「グラフの読み方：ポイント(ア)～(オ)」を確かめよう。

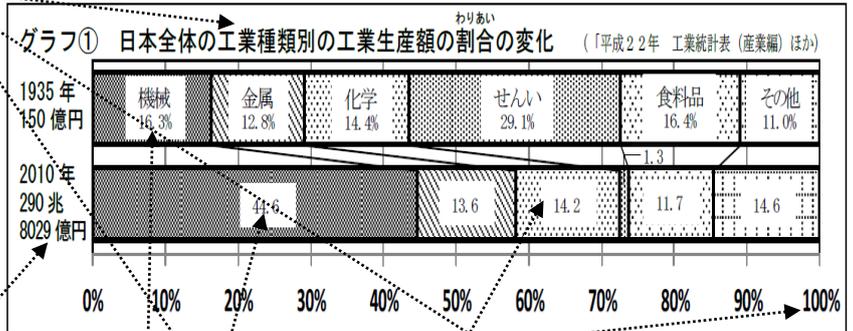
- ・(1) をまちがえた人→ポイント(ア)
- ・(2) をまちがえた人→ポイント(イ)
- ・(3) をまちがえた人→ポイント(ウ)
- ・(4) をまちがえた人→ポイント(エ)
- ・(5) をまちがえた人→ポイント(オ)

◆グラフの読み方：ポイント(ア)～(オ)

(ア) グラフのタイトルは何か。

※(1)が「×」である理由

①～③のグラフのタイトルをみると、「愛知県」の製造品出荷額を表しているグラフがないことがわかります。よって、グラフから、「岐阜県の製造品出荷額は、愛知県の製造品出荷額より少ない」とはいえません。

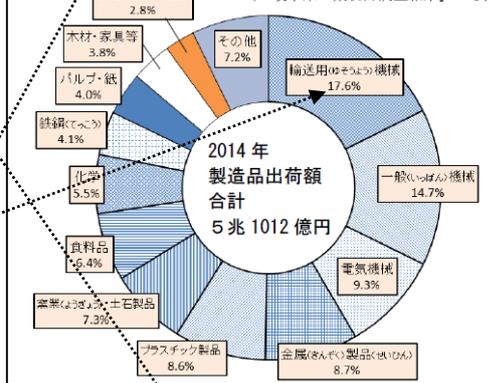


(イ) グラフの単位は何か。

※(2)が「×」である理由

「食料品」は、1935年は「16.4%」、2010年は「11.7%」と割合は減少しています。しかし、2010年の生産額の合計は、約290兆円で、その約12%は約35兆円となり、1935年の食料品の生産額(合計150億円の16.4%)よりも多いといえます。

グラフ② 岐阜県の製造品出荷額の割合

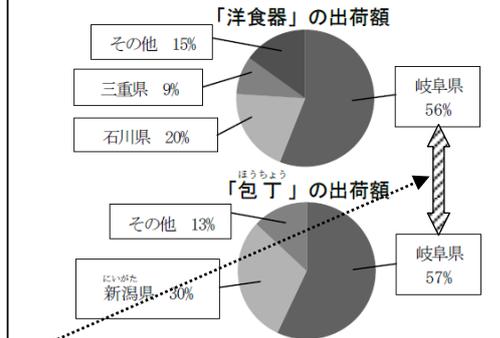


(ウ) 全体を見て、割合が高いのはどれか。

※(3)が「○」である理由

グラフ②をみると、2014年の「岐阜県の製造品出荷額」の割合が一番高いのは、「輸送用機械」であることがわかります。

グラフ③ 岐阜県の製品の出荷額が、全国の中で占める割合が高い主な製品



(エ) 増えているもの、減っているもの、変化が大きいものはどれか。

※(4)が「○」である理由

グラフ①をみると、1935年と2010年を比べると、工業生産額の割合が増えているものと、減っているものがあります。

- ・「増えているもの」…「機械」「金属」
- ・「減っているもの」…「化学」「せんい」「食料品」

(オ) グラフを比べて、共通にいえることは何か。

※(5)が「○」である理由

グラフ③をみると、「洋食器」では、岐阜県の出荷額が56%、「包丁」では、岐阜県の出荷額が57%を占めていることがわかります。このことから、「洋食器」や「包丁」において、岐阜県の出荷額が全国の50%以上を占めているといえます。

＜まなび方コーナー＞を活用しましょう。

- 教科書(5年上)
 - ・68ページ「折れ線グラフを読み取る」
- 教科書(5年下)
 - ・6ページ「グラフの読み方」
 - ・53ページ「グラフを比べる」